

# 美方高校新聞



発行所  
福井県立美方高等学校部  
新開責任者部  
編集責任者  
新開部

## 2021 春季総体



# 決戦がはじまる

六月四日～六日にかけて県内各会場で春季総体が行われる。去年はコロナの影響で中止だったため二年ぶりの開催となり各部の活躍が期待される。春季総体に挑む各部の意気込みを紹介する。また、サッカーと陸上は五月二十九日～三十一日に先行して大会が行われた。

### 一漕ぎにこだわる ボート部

①部活紹介  
久々子湖で日々練習に励んでいるのはボート部の部員たち。全国制覇に向けて一生懸命にボートを漕ぐ勇ましい姿がそこにある。  
②メンバー  
一年生十五人、二年生十一人、三年生十人、マネージャー三人  
③アピールポイント  
全員で「日本一」を目指すチーム。日本一の「練習の質」にこだわる。

### 大会で使われるボート



久々子湖にて練習中の男子メンバー

④注目の人  
二年二ホーム柴崎峻佑  
(理由) 二年生ながら先輩と男子舵手付きクオドルプルに乗り全国選抜優

### 最後まで勝利を 追いかけて サッカー部

勝を成し遂げた次世代エースだから。  
⑤春季総体情報  
六月五、六日に久々子湖で行われる。リズムや一本の漕ぎの質にこだわり、一つでも多くのクルーのインターハイ出場を目指す。そして男女総合優勝を勝ち取る！

五月二十九、三十日に丸岡高校グラウンドで一回戦大野高校と戦った。前半は〇対〇で美方高校が押す展開だったが、後半に入ると大野高校に三点を奪われ〇対三で惜敗した。  
キャプテンの池田一晴さんは「諦めず声をかけ合って励まし合い、最後の一秒まで全力で戦えたから悔いはない。僕は試合に勝てなかったが先輩のみんななら必ず勝てると思うので、全力で頑張ってほしい」と思いを託した。顧問の本城先生は「三年生のみんな本当にお疲れさま。一、二年生は三年生の頑張りを引き継いで更に上を目指しま



悔いなき試合をしたサッカー部員たち

しよう」と語った。  
①部活紹介  
部員同士の仲が良いサッカー部は、日々の練習の中で、先輩が後輩に積極的に教える光景がよくみられる。  
②メンバー  
一年生九人、二年生八人、三年生五人、マネージャー三人。  
③アピールポイント  
格上の相手でも最後まで諦めずに頑張りきるところ。  
④注目の人  
二年一ホーム藤木優  
(理由)  
昨年の新人戦一回戦で、五得点するなど高い得点力がある選手。



# 陸上競技 16名が北信越出場 次はインターハイを目指して

**陸上(長距離)**  
**藤原新太**  
二種目制す

五月二十九日(三十一日)、福井県営陸上競技場で他の競技に先駆けて行われた。長距離は七名が北信越大会出場権を掴んだ。

今大会前に藤原新太さんについて部長の東晃成さんは「練習でも勢いがあり、三年間で急成長を遂げた。とても魅力的な走りが特徴」と語っていた通り、県選手権に続き同種目で優勝した。藤原さんは「これまでの努力を信じて全力を出せたから勝てたと思う。一五〇〇mは前半から攻めるレースができた。三〇〇〇m



三〇〇〇m 佐藤と徳田と堀先生

井迅、六位 中村友翼  
男子五〇〇〇m  
六位 東晃成  
男子三〇〇〇m ssc  
一位 藤原新太、六位 友松悠人  
女子一五〇〇m  
六位 徳田美薫  
女子三〇〇〇m  
四位 佐藤鳳羽、五位 徳田美薫  
①部活動紹介  
部員の仲が良く、面白い人がたくさんいるので楽しく練習できる。走ることが得意でなくても、集中して取り組める環境を活かして自身を高めることができる。  
②メンバー  
一年生七人、二年生八人、三年生五人、マネージャー五人



一五〇〇mと三〇〇〇m 障害を制した藤原新太

障害は、ペース配分が悪かったが二位集団との差をつけることができた。北信越では強い選手グループの前で走りインターハイを決めたい」と力強く語った。  
【大会結果】  
男子一五〇〇m  
一位 藤原新太、五位 平

## 陸上(短距離) 男子リレー 六年ぶりの快挙

同じく短距離は、例年よりも多い三種目九名が北信越を決めた。  
リレーメンバーの田辺雄翔さんは「絶対決勝に行くぞと強い気持ちで走った。決勝では前にいるチームに必死に食らいついて全力で駆け抜けた。リレーは唯一複数人で行える種

目。四人の思いをバトンに乗せて北信越では四十三秒台を叩き出したい。円盤投げの岸さんは「最終投で自己ベストが出て良かった。北信越では感謝の気持ちと県代表の自覚をもって全力を注ぐ」と決意を述べた。主将の田辺太一さんは三年間を振り返り「色んなことがあったが、このメンバーで走れて幸せ。お互いを高め合うことができたのは選手みんなのお陰です。マネージャーはいつも場を和ませてくれたり、選手のサポートをしてくれてありがとう。みんなと部活ができて楽しかった」と語った。  
堀田先生は「北信越でのかっこいい姿を楽しみにしています。リレーで北信越が決まった時は泣きました。後輩は成果を残した先輩たちの姿、よく目に焼き付けてください」と語った。  
【大会結果】  
四×一〇〇mリレー六位



三年間の思い今一つに

(田辺雄翔、加茂昇悟、渡邊颯、田辺太一)  
男子円盤投  
三位 岸樹輝  
男子やり投  
三位 永木晴之、四位 三宅晃平、六位 矢追光希  
女子円盤投  
六位 森川耀

①部活紹介  
普段の練習は主将を中心に第二グラウンドで熱心に活動している。先輩と後輩の仲が良く家族のような関係を築いている。  
②メンバー  
一年生二人、二年生九人、三年生十人、マネージャー六人。

③アピールポイント  
○・一秒を縮め、一cmを伸ばすために、大会の何ヶ月も前から練習して確実によい記録につなげることを。



全集中、永木の呼吸